

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第2区分
【発行日】平成16年10月7日(2004.10.7)

【公表番号】特表2000-504698(P2000-504698A)

【公表日】平成12年4月18日(2000.4.18)

【出願番号】特願平9-528936

【国際特許分類第7版】

C 0 7 D 401/06

A 0 1 N 43/50

【F I】

C 0 7 D 401/06

A 0 1 N 43/50 Q

【手続補正書】

【提出日】平成15年9月29日(2003.9.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成15年 9 月 29 日

特許庁長官 今井 康夫 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第528936号

2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名称 バイエル・アクチエンゲゼルシャフト



3. 代 理 人

〒107-0052

住所 東京都港区赤坂1丁目9番15号
日本自転車会館

氏名 (6078)弁理士 小田島 平 吉

電話 3585-2256



4. 補正命令の日付 なし

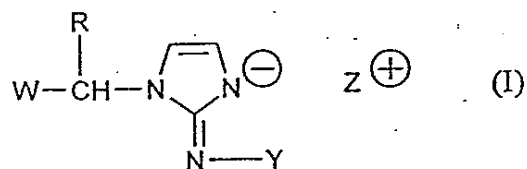
5. 補正の対象

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲の記載を、次のとおり訂正する（請求の範囲5、6及び7を削除する）。

『1. 式（I）



式中、

Rは、水素またはアルキルを表し、

Yは、ニトロまたはシアノを表し、

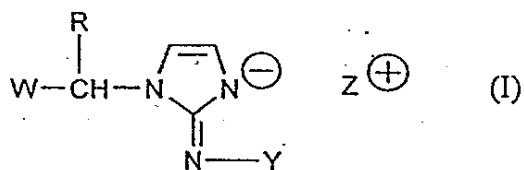
Wは、場合によっては置換されてもよい5-または6-員の複素環式基を表し、そして

Zは、等価のアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属または $[\text{NR}^1\text{R}^2\text{R}^3\text{R}^4]$ 基を表し、式中、

R^1 、 R^2 、 R^3 および R^4 は、同一または異なり、そして水素、アルキル、場合によっては置換されてもよいシクロアルキルまたは場合によっては置換されてもよいベンジルを表す、

のイミダゾリン誘導体の塩。

2. 式（I）



式中、

Rは、水素またはアルキルを表し、

Yは、ニトロまたはシアノを表し、

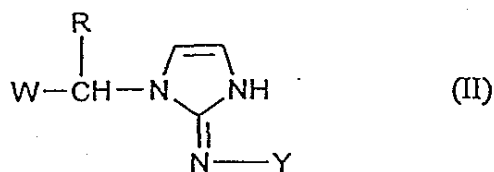
Wは、場合によっては置換されてもよい5-または6-員の複素環式基を表し、そして

Zは、等価のアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属または $[NR^1R^2R^3R^4]$ 基を表し、式中、

R^1 、 R^2 、 R^3 および R^4 は、同一または異なり、そして水素、アルキル、場合によっては置換されてもよいシクロアルキルまたは場合によっては置換されてもよいベンジルを表す、

のイミダゾリン誘導体の塩の製造法であって、

式(II)



式中、

R、YおよびWは上記意味を有する、

のイミダゾリンを、式(III)



式中、

Zは上記意味を有する、

の水酸化物と、希釈剤の存在下で反応させることを特徴とする、上記方法。

3. 請求の範囲第1項に記載の式(I)のイミダゾリン誘導体の塩の少

なくとも1種を含有することを特徴とする、有害生物を防除するための組成物。

4. 有害生物を防除するための請求の範囲第1項に記載の式(I)のイミダゾリン誘導体の塩の使用。』